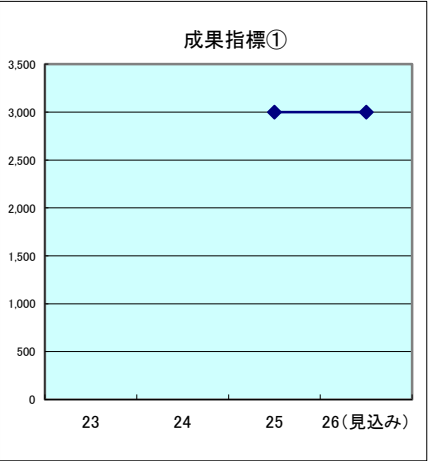
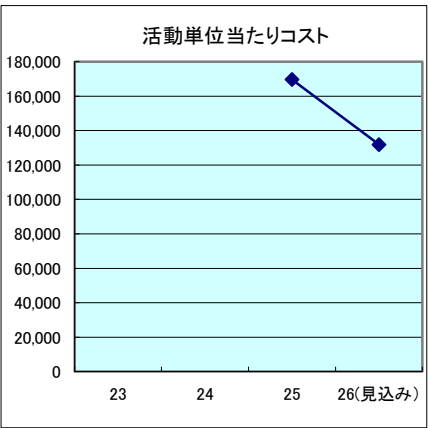


事務事業名			はびきの七夕祭事業		予算科目	会計	1	一般会計	
						款	2	総務費	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	4	魅力ある地域社会を拓く活力あるまち			項	1	総務管理費	
	施策(節)	8	観光振興・都市交流			目	5	企画費	
	施策の方向	(3)	観光資源・事業のアピール		事業	86	竹内街道まち並み賑わい事業		
関連する計画等					作成部署	市長公室政策推進課			
					(連絡先)	072 - 958 - 1111 内線 3512			
事業の概要(目的・内容)			竹内街道1400年を契機として、街道沿いにある古市駅東広場において、七夕の日になんで、会場を笹飾りなどで装飾を行い、地域の特産品等を販売する軽トラック市やステージイベントを開催するなど、夕暮れから夜へと変化する幻想的かつ季節感あふれる雰囲気を創り出し、地域の活性化や魅力の向上を図る。						
根拠法令等									
事業期間			☐ 10年以上 ☐ 5年以上10年未満 ☒ 5年未満 (平成 25 年度開始)						
事業開始時からの状況変化									
実施手法			☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()						
委託先			☐ 市外郭団体委託 名称()				委託内容		会場設営等委託
			☒ 民間委託 ☐ その他						

区 分		23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込み)
事業費【1】				369	275
人件費【2】		0	0	2,346	1,043
職員数	正規職員	人	人	0.34 人	0.15 人
	再任用職員	人	人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	人	人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	人	人	0.00 人	0.00 人
超過勤務(参考)		時間	時間	125.00 時間	40.50 時間
総事業費【(1)+(2)】【A】		0	0	2,715	1,318
財源内訳	国庫支出金			0	
	府支出金			0	
	市債			0	
	その他(使用料・手数料等)			0	
	一般財源【B】	0	0	2,715	1,318
活動指標【C】		23年度	24年度	25年度	26年度 (見込み)
① 会議開催数	回			16	10
② 出店数	店			21	14
活動単位当たりコスト 〔A〕÷〔C〕①		円	円	169,688 円	131,825 円
活動単位当たり一般財源額 〔B〕÷〔C〕①		円	円	169,688 円	131,825 円
市民1人当たりコスト 〔A〕÷人口		円	円	23 円	11 円
一般財源【B】の推移(前年度比)			#DIV/0! %	#DIV/0! %	▲ 51.4 %
※前年度比5%以上変動している要因(該当する場合のみ)		☐ 1. 制度改正・事業の見直しなど ☐ 2. 左記1によらない対象件数などの増減			
※該当項目すべてに✓		☐ 3. 物価・賃金水準などの変動 ☐ 4. 国庫支出金など特定財源の増減			
		☒ 5. その他(事業内容の見直しを行ったため、平成25年度と比較して減少した。)			



成果指標 (事業の達成度を測る指標)	指標名		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	①	来場者数	人	目標		2,500	3,000
	(式又は説明)			実績		3,000	
	②			目標			
	(式又は説明)			実績			

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有
								○		

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い（事業の拡充・継続の要望がある、又、活動指標が増加傾向にあるなど）	☒	☐	☐	平成25年度から開始した事業であるため、今後、事業の規模や内容等については変わる可能性がある。
		市民ニーズと比較してサービスの対象範囲や水準が適切か	☐	☒	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☐	☒	☐	
		事業を縮小、又は廃止・休止した場合の影響度が大きい	☐	☒	☐	
	効率性	活動単位あたりコストが適切である（経年比較など）	☒	☐	☐	事業の主体、規模や内容等については、今後、変わる可能性がある。 また、イベントの内容に軽トラ市を含んでいるため、軽トラ市の臨時開催の形をとるか等の検討が必要である。
		使用料・手数料等の受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☐	☒	☐	
		国・府の事業や市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		市の他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない	☐	☒	☐	
		民間活力（民間委託、NPO・ボランティアなど）の活用について検討の余地がない（すでに活用しており、拡大の余地はないを含む）	☐	☒	☐	
	協働性	事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、参加、協力が得られているか	☒	☐	☐	幼稚園児及び保育園児の短冊作成によるイベント参加や軽トラ出店者の参加により、イベントを盛り上げていただいている。
	有効性	成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	
	達成度	成果指標は前年度より向上している	☐	☐	☒	今年度から開始した事業であるため、前年度と比較をすることができない。

担当部局評価	総合評価	
	☐ 継続 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 （概ね現行どおり継続して実施） （実施方法の改善を検討する） （事業規模の縮小を検討する） （廃止・休止を検討する）	
	今後に向けて（取組方針・具体的な改善改革案など）	
	平成25年度から開始した事業であるため、実施内容や方法については、今後も検討が必要である。特に、軽トラ市を開催している観光課との調整が必要である。	
行革本部評価	総合評価	
	☐ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止	